

9月20日の京丸園(株)見学の報告

<京丸園(株)の概要>

- ・法人設立 2004年10月
- ・経営理念 『笑顔創造』
- ・生産規模 水耕施設 80a、田畑 120a（水稻70a、野菜50a）
- ・経営作目 みつば、姫ねぎ、姫ちんげん、米（無農薬あいがも農法）、ごぼう、さつまいも
- ・従業員数 役員4名、社員5名、パートタイム53名（心耕部・研修生含む）
心耕部 雇用障害者17名（知的6、身体4、精神7）
障害者研修生4名（知的1、精神2、高次脳1）

○障害者が働きやすい環境づくり(ユニバーサル農業)

- ・作業の簡素化

⇒人が作業に慣れるのではなく、作業を誰にでも出来るように工夫し単純化

- ・具体的な指示

⇒大体や感覚による指示はしないで、具体的にしてほしい「行動」を指示する

- ・作業用の補助機械を開発

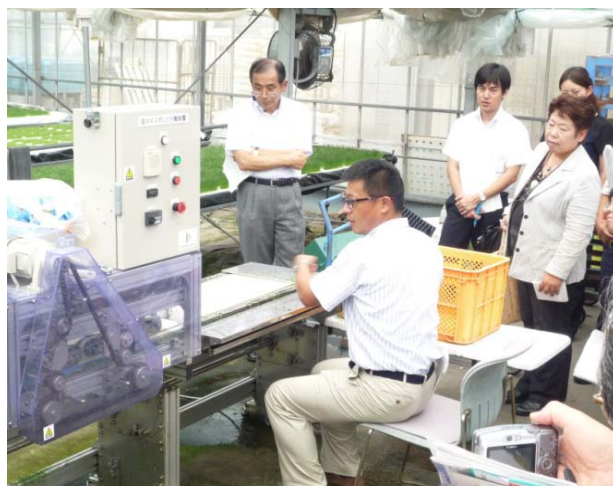
⇒機械から音楽が流れて動きを知らせる。
一定時間がたつと作業台の高さが変わり、働きながらリハビリとなる。
歩行訓練を兼ねた虫取り機械。

- ・その他、徹底した精神的なフォロー

○京丸園が利用した障害者助成金等

- ・特定求職者雇用開発助成金
- ・トライアル雇用
- ・障害者介助等助成金
- ・第1種作業施設設置等助成金（作業設備、付帯施設）
- ・報奨金
- ・最低賃金減額特例の許可

※これらの手続き等は、社労士ネット会員の鈴木泰子さんが行っています。



働きながらリハビリできる「姫ネギスポンジ分離装置」の説明をする鈴木厚志社長

◆事務局便り◆

鈴木社長は、代々続いてきた農家の跡取りで、障害者雇用を始めるまでは専門的知識や経験が重視される農作業は、障害者には勤まらないと考えていたそうです。しかし、初めて研修で受け入れた障害者が、一生懸命に誠実に働くのを見て、考えが変わったそうです。以来、作業工程の見直しや障害者の扱える作業機械の発明など障害者の視点に立った働きやすい職場作りに取り組んでこられました。

社労士ネット初の研修会として、これ以上ない程に理想的な農業法人でした。